

○経済産業省告示第百十四号

プラスチック使用製品設計指針（令和四年内閣府、財務省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省告示第一号）の規定に基づき、家庭用洗浄剤容器に係る設計認定の基準を次のように定める。

令和七年七月二十四日

経済産業大臣 武藤 容治

家庭用洗浄剤容器に係る設計認定の基準

プラスチック使用製品設計指針3(2)に規定する設計認定の基準（以下「設計認定基準」という。）のうち、洗濯用洗剤、柔軟仕上剤、台所用洗剤、食器洗浄機用の洗剤（以下「食洗器用洗剤」という。）又は住居用洗剤を充填するためのプラスチック製の容器（以下「家庭用洗浄剤容器」と総称する。）に係るものは、次に掲げるとおりとする。

1 家庭用洗浄剤容器のうち、洗浄剤を詰め替えることにより繰り返し使用することができる容器（以下「詰替え本体容器」という。）に係る設計認定基準は、設計認定を受けようとする家庭用洗浄剤容器が、次の第一号又は第二号を満たすこととする。

一 次のイからへまでを満たすこと。

イ 陶器、ガラス又はエアゾール（缶に噴霧器を取り付けて、液体又は粉末等の内容物を霧状に噴出させるものをいう。以下同じ。）を使用していないこと。

ロ ポリ塩化ビニル、ポリ塩化ビニリデンその他の有機塩素化合物又はアルミニウムはくを使用していないこと。

ハ プラスチック、紙又は木材等を混ぜた混合物を材料として使用していないこと。

ニ 容器の原料としてプラスチックのみを使用する場合は、単一の種類のプラスチック（ポリエチレンテレフタレート、ポリプロピレン、ポリエチレン又はポリスチレンに限る。）を使用すること。

ホ 容器に紙又は金属等のプラスチック以外の材料を使用する場合は、材料ごとに分離できること。

ヘ 原単位（容器一個当たりに使用されるプラスチックの重量を容器一個当たりの内容量で除して得た値をいう。以下同じ。）が、次の表の上欄に掲げる容器に充填する洗浄剤の種類に応じ、同表の下欄に掲げる原単位を下回ること。

容器に充填する洗浄剤の種類	原単位
---------------	-----

洗濯用洗剤	○・一〇八
柔軟仕上剤	○・一二五
台所用洗剤	○・一二〇
食洗器用洗剤	○・〇六〇
住居用洗剤	○・一六〇

二 次のイ及びロを満たすこと。

イ 前号イからホまでを満たすこと。

ロ 当該容器一個当たりの重量のうち、日本産業規格Q一四〇二一の七・八・一・一のa)の1)に適合する再生プラスチック（以下「プレコンシューマ材料」という。）、日本産業規格Q一四〇二一の七・八・一・一のa)の2)に適合する再生プラスチック（以下「ポストコンシューマ材料」という。）及びバイオマスプラスチック（動植物に由来する有機物である資源（化石資源を除く。）を原料とするプラスチックをいう。以下同じ。）の重量の合計の割合が二十五パーセント以上であること。

2 家庭用洗淨剤容器のうち、本体容器における洗淨剤の詰替えを目的とするボトル形の容器（以下「ボト

ル形容器」という。）に係る設計認定基準は、設計認定を受けようとする家庭用洗浄剤容器が、次の第一号又は第二号を満たすこととする。

一 次のイ及びロを満たすこと。

イ 前項第一号イからホまでを満たすこと。

ロ 原単位が、次の表の上欄に掲げる容器に充填する洗浄剤の種類に応じ、同表の下欄に掲げる原単位を下回ること。

容器に充填する洗浄剤の種類	原単位
台所用洗剤	○・○五○
食洗器用洗剤	○・○二○
住居用洗剤	○・○六○

二 次のイ及びロを満たすこと。

イ 前項第一号イからホまでを満たすこと。

ロ 前項第二号ロを満たすこと。

3 家庭用洗浄剤容器のうち、本体容器における洗浄剤の詰替えを目的とするプラスチックフィルム製の容

器（以下「フィルム形容器」という。）であつて、単一の種類のプラスチック（ポリエチレンテレフタレート、ポリプロピレン又はポリエチレンに限る。）を使用しているものに係る設計認定基準は、設計認定を受けようとする家庭用洗浄剤容器が、次の第一号から第三号までの要件を満たすこととする。

一 第一項第一号イからハまでを満たすこと。

二 当該容器一個当たりの重量のうち、バリア層（洗浄剤を保護するためのプラスチックフィルムの表面に対して蒸着した金属はくの層又はエチレン及びビニルアルコールの共重合体若しくはポリビニルアルコールから成る層をいう。）の重量の割合が五パーセント以下であること。

三 原単位が、次の表の上欄に掲げる容器に充填する洗浄剤の種類に応じ、同表の下欄に掲げる原単位を下回ること。

容器に充填する洗浄剤の種類	原単位
---------------	-----

洗濯用洗剤	○・一一〇
柔軟仕上剤	○・〇四五
台所用洗剤	○・〇三三
食洗器用洗剤	○・〇二四
住居用洗剤	○・〇三五

4

3に規定するフィルム形容器のうち、異なる種類のプラスチックフィルムを積層した容器に係る設計認定基準は、設計認定を受けようとする家庭用洗浄剤容器が、次の第一号又は第二号を満たすこととする。

一 次のイからニまでを満たすこと。

イ 第一項第一号イからハまで及びホを満たすこと。

ロ フィルム以外にプラスチックを使用する場合は、単一の種類のプラスチックを使用すること。

ハ フィルムの各層は単一の種類のプラスチックを使用すること。

ニ 原単位が、次の表の上欄に掲げる容器に充填する洗浄剤の種類に応じ、同表の下欄に掲げる原単位を下回ること。

容器に充填する洗浄剤の種類	原単位
洗濯用洗剤	〇・〇一七
柔軟仕上剤	〇・〇二〇
台所用洗剤	〇・〇二〇
食洗器用洗剤	〇・〇二〇
住居用洗剤	〇・〇二〇

二 次のイ及びロを満たすこと。

イ 前号イからハまでを満たすこと。

ロ 当該容器一個当たりの重量のうち、プレコンシューマ材料、ポストコンシューマ材料及びバイオマ
スプラスチックの重量の合計の割合が十パーセント以上であること。

5 家庭用洗浄剤容器のうち、詰替え本体容器、ボトル形容器及びフィルム形容器以外のものに係る設計認
定基準は、設計認定を受けようとする家庭用洗浄剤容器が、次の第一号又は第二号を満たすこととする。

一 次のイ及びロを満たすこと。

イ 第一項第一号イからホまでを満たすこと。

ロ 原単位が、次の表の上欄に掲げる容器に充填する洗浄剤の種類に応じ、同表の下欄に掲げる原単位を下回ること。

容器に充填する洗浄剤の種類	原単位
台所用洗剤	○・○五〇
食器用洗剤	○・○二〇
住居用洗剤	○・○六〇

二 次のイ及びロを満たすこと。

イ 第一項第一号イからホまでを満たすこと。

ロ 第一項第二号ロを満たすこと。

附 則

この告示は、公布の日から起算して六月を経過した日から施行する。